

### 3 地球温暖化防止

日本化薬では、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>の排出量を削減するため、京都議定書をベースにした中期目標を設定しています。各工場では、製造工程の適正化による改善、蒸気の送気ロス削減、省エネルギー型ボイラーの導入、コージェネレーションの導入など、種々の省エネルギー対策に取り組んできました。これらの取り組みの結果、エネルギー消費量が低下し、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量は年々減少傾向にあります。2008年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は69,701トンで、昨年度よりもおよそ7%減少しており、この2008年度のCO<sub>2</sub>排出量は、1990年度に対して約23%削減という結果になっています。

#### Voice



福山工場 環境保安部  
今川 道之助

福山工場の温室効果ガス削減は、2007年のボイラー燃料の都市ガスへの転換とエネルギー使用量の減少で2008年度は約40%の削減ができました。しかし、エネルギー原単位は、生産に比例しない固定的なロスが影響し、大きく悪化しました。この固定的ロスの削減のため蒸気配管の改善検討など全体的な取り組みと、生産工程の改善や各職場固有の省エネテーマを目的実行型で取り組み、省エネの推進を図っています。いろいろな検討委員会やプロジェクトが有機的にかかわり、家庭を含めたイベントもいろいろ進めており、私も事務局として環境改善の取り組みを推進していきます。

#### 「家庭でできる地球温暖化防止活動」配布

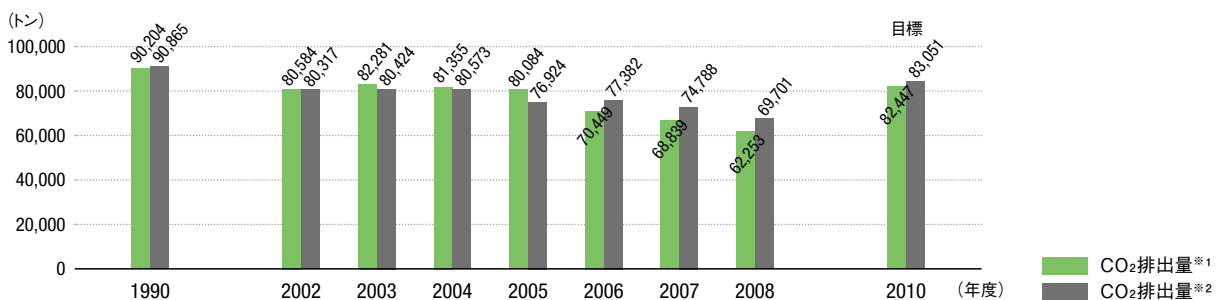
一般に、オフィスビルなどの業務部門、家庭といった民生部門では、エネルギー使用量が增大しています。そこで日本化薬グループでは、従業員およびご家族にもご理解をいただき、「家庭でできる地球温暖化防止活動」の小冊子とともに「我が家の宣言書」、「我が家の環境家計簿」、「わが家のエコ活動チェックリスト」を作成し、当社および国内グループ会社従業員に配布しました。「我が家の宣言書」は、実に2,152世帯の従業員ご家族から賛同を得ることができました。また「我が家の環境家計簿」と「わが家のエコ活動チェックリスト」は、2009年3～5月の3カ月間記入をお願いし、活動実施後の「我が家の環境家計簿」を集計しました。その結果、当社および国内グループ会社従業員世帯のCO<sub>2</sub>排出量は、一世帯平均で1,450kgでした(2009年3～5月の3カ月間)。今後もこの活動を続けることにより、どれだけCO<sub>2</sub>排出量が削減できるか楽しみです。



#### モーダルシフト

当社では、2003年度から開始した物流改革で3PL(物流業務元請化)を導入し、元請会社と共同して可能な案件についてモーダルシフトを実施しています。今後も、引き続き出荷データの解析を進め、積極的にモーダルシフトを推進していきます。

#### エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の推移(日本化薬単体)



※1 CO<sub>2</sub>排出量：電力のCO<sub>2</sub>排出係数として、0.378(2000年度全電力会社CO<sub>2</sub>排出係数平均値)を採用した

※2 CO<sub>2</sub>排出量：電力のCO<sub>2</sub>排出係数として、1990年度および2000～2005年度は、当時の各電力会社が公表するCO<sub>2</sub>排出係数を用いて算出した。また、2006年度以降は環境省告示の各電力会社CO<sub>2</sub>排出係数を採用した